

## VSRAD導入のお知らせ

画像診断クリニックは、最新鋭のMR装置・CT装置を装備し専任スタッフによる高精度の画像構築、放射線専門医による迅速・的確な診断に特化した施設です。

この度、早期アルツハイマー型認知症（早期AD）の診断支援ソフト“VSRAD”を導入することになりましたのでご案内申し上げます。このVSRADは従来1.5TのMRI装置で撮影した画像のみで使用可能でしたが、3TのMRI装置で使用するがようやく可能となりました。早期AD診断の補助として活用していただければ幸いです。

VSRADは早期アルツハイマー型認知症で特徴的にみられる海馬・海馬傍回付近の萎縮の形態画像情報を解析します。MRI画像で視覚評価が困難であった早期AD診断を補うものです。

ご依頼はMRI検査依頼票にVSRADとご記入の上、予約時にその旨お伝え下さい。

- 対象年齢は50歳以上となります。50歳以下の方は萎縮に関して偽陽性となることがあります。
- 費用は従来の頭部MRI検査と変わりなく、追加費用は発生しません。
- 脳梗塞やその他の疾患、患者様の体動などにより解析結果が正しく表示されない場合があります。
- 3Tと1.5TのMRI画像では解析結果が異なります（3Tの方がVOI内萎縮度が小さくなる傾向にあります）。その為、経過観察はできるだけ同じ磁場強度のMRIで行って下さい。
- VSRADをする場合、従来の頭部MRI検査とは若干内容が異なります。  
T2：横断 FLAIR:横断 DWI:横断 T1(FFE):横断(MPR)・冠状断(MPR)  
撮影時間の関係上MRAはできません。



医療法人満領会 画像診断クリニック  
院長 松下正樹